

「グリーンインフラ」とは

グリーンインフラの経緯

- 1990年後半～** ▶ 欧米において取組みが先行（米国（ポートランド等）：都市の緑化等による雨水管理、越流軽減、水質の浄化等）
（欧州）：生物多様性の保全、気候変動対策等
- 2015年** ▶ 国土形成計画（2015年8月閣議決定）において、「グリーンインフラ」という言葉が初めて政府文書で使われる
その後、社会資本整備重点計画（9月閣議決定）等、様々な政府の計画でグリーンインフラを位置づけ
※「グリーンインフラ」：社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境（緑、水、土、生物等）が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組
- 2018年** ▶ **グリーンインフラ懇談会**（座長：筑波大学石田東生教授）を設置（12月）、グリーンインフラの推進に向けた議論を本格的に開始
- 2019年** ▶ 経済財政運営と改革の基本方針（6月閣議決定）、未来投資戦略2019（6月閣議決定）、国土強靱化年次計画2019（6月国土強靱化推進本部決定）等においても、グリーンインフラを位置づけ ⇒ 「**グリーンインフラ推進戦略**」公表（7月）

グリーンインフラの取組事例

① 雨水の貯留・浸透による防災・減災 気候変動への対応

歩道の透水性・保水性舗装、植樹ます



提供 横浜市

雨水を一時的に貯めてゆっくり地中へ浸透させ、
水質浄化や修景機能も併せ持つ「雨庭」



提供 京都市



② 戦略的な緑・水の活用による 豊かな生活空間の形成

琵琶湖と市街地を結ぶ緑軸として公園を整備



車津川跡地公園
(滋賀県草津市)

地域住民による緑地の管理



みつけイングリッシュガーデン
(新潟県見附市)



③ 投資や人材を呼び込む 都市空間の形成

自然環境と調和した
オフィス空間の形成



二子玉川ライズ
(東京都世田谷区)

廃線高架橋における公園緑地整備
による不動産投資の活性化



提供 ハライズHP



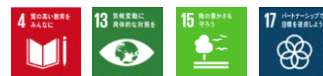
④ 豊かな自然環境・景観の保全 生態系ネットワークの形成

生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な
河川環境を保全・創出する多自然川づくり



鶴見川水系梅田川
(神奈川県)

山間の荒廃した水田をビオトープや
環境教育の場として活用



グリーンインフラの推進と今後の取組

推進方策

- ① **主流化のための環境整備**（官民連携プラットフォームの創設、都市計画に係る運用方針等の見直し、技術指針の策定 等）
- ② **推進のための支援の充実**（モデル事業の実施、優良事例の横展開、緑の総合的な支援制度、雨水貯留浸透対策の推進 等）
- ③ **関連する評価手法の開発等**（科学的根拠やエビデンスを整理、評価して投資判断を行う手法 等）

環境整備

グリーンインフラ官民連携プラットフォーム

12月16日～会員募集中 ⇒ 2020年3月13日第1回総会で発足（予定）

会員	都道府県 市町村	関係府省庁	民間企業 学術団体等	個人
----	-------------	-------	---------------	----

- ◆ 団体でも個人でも会員登録可能
- ◆ 会員は、本プラットフォームの「総会」や「専門部会※」に参加可能
※ 専門部会は、「企画・広報部会」、「技術部会」、「金融部会」を予定
- ◆ グリーンインフラ推進のために必要な「仲間づくりの場」、「情報を発信・収集する場」、「オープンに議論する場」、「普及啓発を進める場」などとしての活用を想定

活動内容

① グリーンインフラの推進 ポータルサイトでの情報提供、 アドバイザーの派遣等	② グリーンインフラの社会的な普及 シンポジウム・セミナーの開催、 アイデアコンテストの実施等
③ グリーンインフラに係る調査・研究 課題の共有・整理、解決策の検討、 事例の共有、評価手法の検討等	④ グリーンインフラ推進のための資金調達 グリーンボンド等の民間資金を活用した取組事例の紹介等

主な支援策の例

先導的グリーンインフラモデル形成支援

地方公共団体において**分野横断型**の先導的な**グリーンインフラのモデルを形成**するため、専門家を派遣し、体制づくりからグリーンインフラの基本構想の策定、各種計画への反映、事業化に至るまでの**ハンズオン支援**を実施



グリーンインフラ活用型都市構築支援事業

官民連携・分野横断による、戦略的な緑や水のネットワークの形成を行い、都市の安全性の向上、快適性・生産性の向上等を推進する**グリーンインフラの支援事業を創設**

